



北陸本線JR武生駅に近い武生工場

磁性材料の研究・生産拠点として 発展を続ける武生工場

武生工場は1945(昭和20)年に設置され、珪素鉄や石灰窒素などの生産を開始。その後、レア・アース、レア・アースマグネットの研究・生産拠点として発展を続け、自動車、家電製品、各種産業機器などの小型・軽量化・省エネルギー化などのニーズに応えています。

工場探訪 武生工場

武生工場は、磁性材料の研究・生産拠点として、世界最高レベルの磁気特性を持つレア・アースマグネットの開発・生産を行っています。一方で、高特性省レア・アースマグネットの量産、レア・アースのリサイクルにも取り組んでいます。その他にも、ゴムコンパウンドやグリース・オイルコンパウンドなどのシリコン製品や半導体シリコン(信越半導体株)、合成石英(信越石英株)、電気用PPフィルム(信越フィルム株)などを生産しています。

●敷地面積: 460,000m²



磁性材料研究所

武生工場の敷地内にある磁性材料研究所では、希土類を分離精製するプロセス技術やレア・アースを原料とするレア・アースマグネットの開発などを行っています。また、独自の粉末コントロール技術や磁場解析技術による材料の開発や応用を手掛けています。



■ 武生工場の取り組みがホームページに掲載されていますので、ご覧ください。
ホームページアドレス: http://www.shinetsu.co.jp/company/society_takefu.html

TOPICS

越前市ってこんなところ

モノづくりが盛んで、歴史と美しい自然が織りなすまち

福井県の中央部に位置し、三方が山に囲まれた盆地で、南部には「越前富士」として親しまれている日野山(ひのさん)がある越前市。古くからモノづくりが盛んな地域で、和紙や打刃物など伝統工芸品の産地となっています。近年は、電子・自動車・家電部品やニットアパレルなどの生産が盛んで、福井県随一の製造品出荷額を誇る「モノづくり都市」として発展を続けています。一方、食文化では、豊かな自然と美しい水から作り出される「越前おろしそば」が有名で、地元民にも愛される絶品のそばです。また、最近では、ポルガライスというオムライスの上に、豚カツが乗っている少し変わったB級グルメもちまたをにぎわせています。

●越前市ホームページ: <http://www.city.echizen.lg.jp/>

「越前富士」として親しまれている日野山

絶品のソースカツ丼と
越前おろしそば